

# 革のかたち

The Forms of Leather

茨城県陶芸美術館テーマ展

河野甲 KONO KO

河野甲 七月の出来事 2001年 個人蔵



市川陽子 ICHIKAWA YOKO

市川陽子 Mimic /branch-1 2021年 個人蔵

2024 9/11 Wed — 12/15 Sun

画像提供: GALLERY crossing

茨城県陶芸美術館  
IBARAKI CERAMIC ART MUSEUM

〒309-1611 笠間市笠間2345 [笠間芸術の森公園内]  
Tel.0296-70-0011 Fax.0296-70-0012 URL <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

主催: 茨城県陶芸美術館 会場: 茨城県陶芸美術館 2階第2展示室 開館時間: 午前9時30分~午後5時(入場は4時30分まで) 休館日: 毎週月曜日(ただし9月16日、23日、10月14日、11月4日は開館)、9月17日(火)、9月24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火) 観覧料: 【9月29日まで】一般320(260)円、70歳以上160(130)円、高大生260(210)円、小中生160(130)円 【10月1日以降】一般360(290)円、70歳以上180(140)円、高校生等290(240)円、小中生180(150)円 ※ ( )内は20名以上の団体料金。茨城県民の日[11月13日(水)]は全ての方無料。土曜日は高校生以下無料。身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳または指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方及び付き添いの方(ただし、1人につき1人まで)は無料。9月15日(日)~9月21日(土)、11月30日(土)は満70歳以上の方無料。

昆虫や生き物の生態を写す河野甲。縫い合わせ、漆を塗ることで独特の表現を生み出す市川陽子。皮革特有の性質や素材感と真摯に向き合い、それぞれが独自のアプローチでその魅力を引き出します。本展は、皮革を用いて造形表現を展開する二人の作家の魅力に迫り、革による造形表現の「現代のかたち」を紹介します。



撮影:SHINJI FUJITANI

河野甲  
Kono Ko

- 1. 蛹 2000年
  - 2. 地動説 2001年
  - 3. 大気への託身(部分) 2010年-2012年頃 当館蔵
  - 4. 両性具有 1995年
- 表記のないものはすべて個人蔵

河野甲(1956-)は、皮革造形作家石丸雅通に師事し、1984年に独立しました。様々な昆虫や、カタツムリなどの軟体動物をモチーフにすることが多く、ユニークな生態をつぶさに観察し、独自の視点で切り取った造形を生み出します。細部までこだわり抜いた写実的な生物から、自身の空想による架空の生物まで表現の幅は広く、それらが共存している世界観が見るものを引き込みます。

- 1956年 愛媛県宇和島市に生まれる。
- 1977年 京都嵯峨美術短期大学洋画科卒業  
皮革造形作家石丸雅通に師事
- 1984年 皮革造形家として独立、京都に工房をもつ。
- 2004年 作品集『しずかな八月』(求龍堂)出版
- 2019年 「いきもの狂騒曲」(茨城県陶芸美術館)出品
- 現在 京都府木津川市にて制作



撮影:Masashi Kuromoto

市川陽子  
Ichikawa Yoko

- 5. Mimic/puff-1 2023年
  - 6. Mimic/four legged friend-1 2023年
  - 7. Mimic/grain side-1 2023年
  - 8. Mimic/folds-1 2023年
- すべて個人蔵  
画像提供:GALLERY crossing

市川陽子(1985-)は、京都市立芸術大学工芸科漆工専攻を修了後、独立して現在は滋賀県で制作活動をしています。漆の表現を追求する中で皮革と出会った市川は、革同士を縫い合わせて成形し、漆を塗って硬化させる方法で、箱や器などを制作しています。素材のもつ特性を生かしながら漆を塗り重ねて仕上げた作品は、しっとりとやわらかい印象の光沢を放ち、存在感を示します。

- 1985年 大阪府に生まれる。
- 2009年 京都市立芸術大学美術学部工芸科卒業
- 2011年 同大学大学院修士課程漆工専攻修了
- 2019年 「TRANSFORM」(GALLERY crossing)
- 2020年 「漆皮SHIPPI」ギャラリーうつわノート、東京
- 2022年 「A Patchwork of Memories」(SOIL/香港)
- 2024年 「Personal Folklore」(GALLERY crossing)
- 現在 滋賀県を拠点に制作



◎出品作家による  
ギャラリートーク  
「革の魅力」

予約  
不要

- ・内容: 出品作家2人によるアーティストトークを行います。
- ・作品について、制作の姿勢について、作家の魅力を深掘りします。
- ・日時: 11月23日(土) 14時から15時30分まで

- ・作家: 河野甲氏、市川陽子氏 聞き手: 岩井基生(当館主任学芸主事)
- ・会場: 茨城県陶芸美術館 2階第2展示室(展覧会場)
- ・参加費: 無料(要テーマ展観覧料)

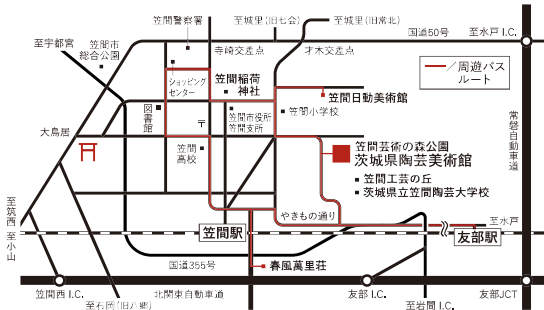
※諸事情により、予告なくイベント等を中止・延期する場合がございます。変更の場合には、当館ウェブサイトにてお知らせいたします。

【ごいっしょに】

企画展「THE HEADLINERS 2024」10月12日(土)～1月26日(日) 茨城県陶芸美術館  
※別途「企画展観覧料」が必要になります。

【交通案内】

電車 / JR常磐線上野～友部駅(特急70分)→友部駅から「かさま観光周遊バス」(料金100円、定員36名)で15分もしくは友部駅でJR水戸線に乗り換え笠間駅(9分)下車し、笠間駅からタクシーで5分  
車 / 北関東自動車道、友部インターから10分、笠間西インターから15分、常磐自動車道岩間インターから25分、水戸インターから30分  
駐車場 / 笠間芸術の森公園北駐車場(300台)をご利用ください。  
※会期中、芸術の森公園内でイベントがある場合は、駐車場が有料になりますが、展覧会をご覧いただく方には美術館受付で返金いたします。



INSTAGRAM



詳しい情報は、  
当館ウェブサイト  
をご覧ください。

